

ご家庭の水道管を守ろう

～「いざ」という時どうしたらいいの?～

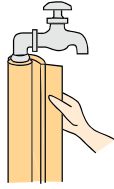


平成28年1月、記録的な寒波に見舞われた北九州市では、凍結による水道管の破裂で漏水が多数発生しました。水道管からの漏水は貴重な水がムダになるだけでなく、水道料金も高額になってしまいます。宅地内の水道管は、お客さまの財産です。お客さま一人ひとりが水道管の凍結対策、漏水の早期発見・早期修繕を心がけましょう。

水道管の凍結対策

◆水道管の保温

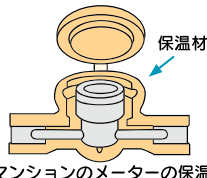
- ①むきだしになっている水道管に保温チューブ等を巻きましょう。保温チューブはホームセンター等で購入することができます。
- ②水道メーターは、布を入れたビニール袋などで、保温しましょう。マンション等のパイプスペース内にある水道メーターも、下図のような保温対策が必要です。
- ③給湯器にも対策が必要です。詳しくはご使用のメーカーへお問い合わせください。



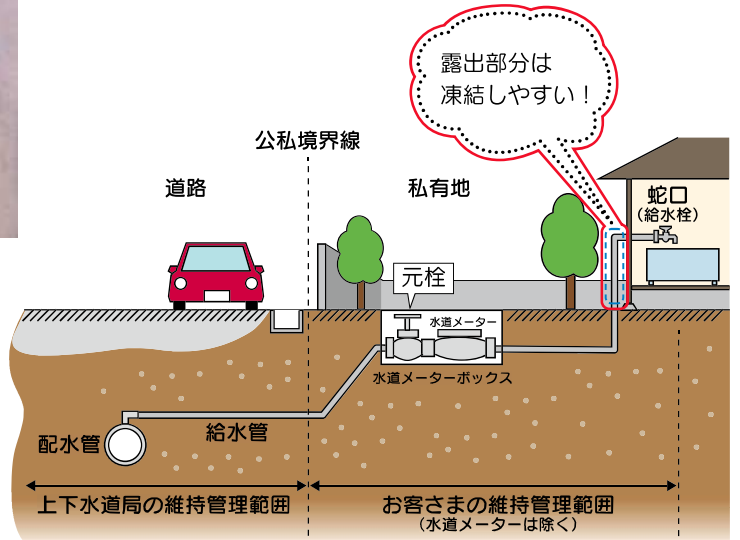
保温チューブの取付



水道メーターの保温

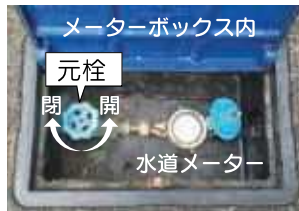


マンションのメーターの保温



◆給水管の元栓がある位置をチェック

1. 寒波が来る前に給水管の元栓(止水栓)の位置を確認しましょう。元栓は水道メーターボックスの中にあります。
2. 寒波時に給水管が破裂した場合は、元栓を止めて修繕の依頼をしましょう。元栓は時計回りに回すと水を止めることができます。



◆水のくみ置き

氷点下となる予報が出たときは、凍結して水道が使用できなくなることを想定して、水のくみ置きをしておきましょう。また、水を少量(糸を引く程度)出すことによって、凍結を防止することができます。



もし、凍結してしまったら

水道管にタオルや布を被せてから蛇口を開け、蛇口の方からぬるま湯をゆっくりとまんべんなくかけてください。
※このとき、決して熱湯をかけないでください。水道管が破裂することがあります。



ぬるま湯

漏水の早期発見のために

「普段どおり水道水を使っているのに、使用水量が増えた」「水道管から異常な音がある」というときは、漏水の可能性がります。次の方法で漏水の有無が確認できますので、漏水の早期発見にご協力ください。



今月から使用水量が増えたなあ…。

- ①家にあるすべての蛇口が閉まっていることを確認してください。
- ②水道メーターのパイロットが回っていれば宅内で漏水している可能性があります。
- ③水道の元栓を閉めて、上下水道局の指定給水装置工事業者へ修繕について相談しましょう。修繕に係る費用はお客さまのご負担となります。「どの業者を選んだらよいかわからない」という場合は、『地元密着型水道修繕工事店』をご利用ください。



パイロット
水道メーター(拡大)

水道管の修繕は「地元密着型水道修繕工事店」

をご利用ください 略称「地元修繕店」

● 地元修繕店の対応工事などの詳細情報は上下水道局ホームページにて掲載しています。

地元修繕店一覧 検索

事業名称	住所	電話番号	受付時間	休業日	対応可能工事			
					漏水修理	止水栓	元栓	改修
地元水運動(株)	小倉北区文庫町1-1	△△△-0000	8:00~17:30	土日、祝、夏季休暇、年末年始	●	●	●	●

どこの業者へ頼んだら良いかわからない
水道のことがよくわからないので不安

そのようなときは **地元修繕店**へ

地元修繕店に関するお問い合わせは
 配水管理課まで ☎093-582-3066

